



梅雨末期の大雨に向け、最終確認

本市でも大きな被害があった「平成30年7月豪雨」のように、九州では、梅雨末期にあたる7月の雨量が多くなる傾向があります。梅雨明けまで気を抜かず、梅雨末期の大雨に備え、非常時の対応を最終確認しておきましょう。

※災害時のほか、日常の広報活動・行政活動の周知のためにも利用しています。



1 防災行政無線の放送内容をカクニン!

災害時に住民の皆さんの身体、財産を守り、またできるだけ被害を軽くするため、重要な情報を発信する方法の一つが、市内全域に設置された防災行政無線です(※)。放送内容に留意し、適切な避難行動に役立てていただくようお願いいたします。

しかし、放送時に内容がはっきり聞き取れなかったということも起こり得ます。そんなときは、放送案内に電話することで確認できます!



防災行政無線放送案内 ☎0948-26-6767

- ・放送後1時間以内は確認できます。
- ・通話料がかかります。
- ・自治会放送(自治会独自で放送している内容)は対象外となります。



2 避難を検討・準備するとき、お願いしたいこと

避難先

災害から命を守るためには、危険な場所から安全な場所へ移ることが最も重要です。避難先として、市の開設する避難所だけでなく、親族宅、知人宅、ホテルなども検討してください。



持参品

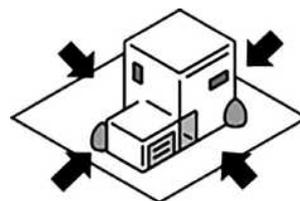
避難所の備蓄品には限りがあります。必要なものは、可能な限り持参していただくようお願いします。

例: 食糧、飲料水、寝具、薬、生理用品等
準備品については、次ページに詳しく掲載します!



3 もしも被害を受けてしまったら…

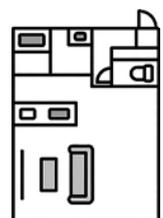
片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険金を請求する際などの資料となり、たいへん役立ちます。



家の外はできるだけ4方向から。浸水の高さがわかるように撮影。



家の中は、被害部屋毎の全景、被害箇所の寄りを撮影。





4 日頃の準備チェックシート

災害情報を集める方法と、避難時の持ち物について一覧にまとめました。覚えておきたいポイントは、以下の2点です。

- ①災害情報は、複数の方法で調べましょう。
- ②生活に必要なもので、災害時に入手しにくいものは、事前準備が特に大切です！
チェックシートを活用し、平常時の備えをお願いいたします。



飯塚市公式 LINE

① 災害情報の調べ方

避難情報

- 飯塚市のホームページ
- 飯塚市公式 LINE の防災メニュー
- 防災行政無線
- 防災メールまもるくん
- KBC テレビのdボタン

気象情報

- 防災メールまもるくん
- テレビのdボタン
- 九州防災ポータルサイト

河川水位の情報

- キキクル
 - 九州防災ポータルサイト
 - 飯塚市河川監視カメラライブ画像
- ※キキクルとライブ画像は飯塚市公式 LINE から確認できます

土砂災害の危険度情報

キキクル

九州防災ポータルサイト

② 避難に必要なもの

必要なものは、それぞれ異なります。自分が生活するうえで必要なもの、特にメガネや薬など、災害時に入手しにくいものは、準備しておきましょう。

携帯電話又はスマートフォン等

- 携帯電話、スマートフォン
- バッテリーパック、AC アダプター

懐中電灯

- 懐中電灯（できれば1人にひとつ）
- 電池（多めに用意）

その他

- 衣類（下着・上着など）
- 生理用品 タオル
- 離乳食 粉ミルク
- 紙おむつ カップ
- ウェットティッシュ
- ヘルメット ライター
- マスク メガネ
- ラップフィルム
（止血や食器にかぶせて使う）

携帯ラジオ

- 携帯ラジオ 電池（多めに用意）

救急医薬品

- 常備薬 鎮痛剤
- きず薬 包帯
- かぜ薬 胃腸薬
- ばんそうこう お薬手帳

非常用食品など

- 非常用食品 缶切り
- 紙コップ 割りバシ
- 紙皿 水筒
- 缶詰 栓抜き
- ミネラルウォーター

貴重品

- 現金 免許証
- 印かん 権利証書
- 健康保険証 自宅・車の予備のカギ
- 預金通帳 カード類

※火を通さないで食べられるもの
食器など

追加記入欄

-
-
-

日頃の準備



5 ローリングストック法で、あなたも備え上手！

ローリングストック法について

備蓄というと長期間保存できる食料や水を購入して蓄えておくというイメージがありますが、気が付けば消費期限が過ぎていたり、購入したこと自体忘れてしまうこともあるかもしれません。

備蓄には、日頃食べたり使ったりしているものを多めに購入し、減ったら買い足すことで常に一定量を確保する「ローリングストック法」があります。この方法は食料品だけに限らず、ラップやティッシュペーパーなどの生活用品でも活用することができます。



- ①最初に多めに購入
- ②消費期限の短いものから順番に使用
- ③消費した分を補充し、常に一定量を確保